

平成27年度(2015)

公益財団法人 出雲市芸術文化振興財団

# 事業計画

# 目 次

平成 26 年度 (2014) 事業計画	P1
公益目的事業	P2
芸術文化事業	P2
出雲総合芸術文化祭事業	P2-3
出雲芸術アカデミー事業	P3-5
博物館事業	P5
展示事業	P5-8
出雲和文化交流会事業	P8
地域芸術文化活性化事業	P8-9
呈茶事業	P9
文化財保存公開事業	P9
貸館事業	P9
出雲市民会館	P10
ビッグハート出雲	P10
平田文化館	P10
大社文化プレイスうらら館	P10
出雲文化伝承館	P10-11
平田本陣記念館	P11
管理施設の概要	P11-12
収益事業	P12
貸館事業	P12
出雲市民会館	P12
ビッグハート出雲	P12-13
平田文化館	P13
大社文化プレイスうらら館	P13
出雲文化伝承館	P13
平田本陣記念館	P13
チケット販売等物販事業	P13
大社図書館の管理運営事業	P13

## 平成 27 年度(2015)事業計画

平成 27 年度、公益財団法人出雲市芸術文化振興財団は、新法人移行後 3 年目を迎え、芸術文化事業、博物館事業、指定管理施設 6 施設の貸館・管理事業の公益事業を中心に、出雲市における芸術文化の振興の中核となる公益法人として、その役割を果たしてまいります。

また、指定管理施設に係る指定管理期間の最終年として、引き続き指定を受けることを目指し、当財団の役職員一丸となり、当財団の専門性と総合性を一層高め、安定した事業運営と健全で責任ある経営を目指します。

まず、芸術文化事業は、「音楽のまち 出雲」の実現を目指しながら、昨年度に引き続き文化庁の「劇場・音楽堂等活性化事業」に係る支援を活用し、

- ・オーケストラと日本舞踊が融合する独創的な出雲アートシーンの創出する出雲の春音楽祭

- ・出雲伝統芸能公演「日舞の魅力×箏曲の魅力」の公演

鑑賞事業では、

- ・新国立劇場バレエ「シンデレラ」公演
- ・松竹大歌舞伎公演

など、新たな取り組みも取り入れながら多様な事業に取り組みます。

他方、出雲芸術アカデミーの講座運営において適正な受益者負担と法人としての公益性のバランスに留意しながら、発足以来はじめて受講料を見直し、本年度から新受講料による講座生徒の募集を行います。なお、それぞれの受講者には適切な説明を行い、理解を得るとともに受講者の拡大に努めます。

次に、博物館事業では、出雲文化伝承館と平田本陣記念館の連携のもとで「来雲 200 年記念 出雲の風外さん」の展覧会の開催をはじめ 10 回の展覧会を開催します。

また、**和文化交流会事業**、第 2 回「出雲伝統の祝膳」講座事業など、多くの事業を実施しながら出雲地方の文化の伝承に取り組みます。

貸館事業においては、財団 6 施設の特徴を十分に把握し、館の連携と総合力で利用者の要望に的確にお応えし、適切な利用案内を行います。

また、出雲市において、利用料金の改定が見込まれており、これに対しても的確でスピーディーに対応するよう努めます。

## I 公益目的事業

### 1. 芸術文化事業

当財団の公益目的事業の中心となる芸術文化事業は、地域の芸術文化活動を積極的に推進し、市民への鑑賞の機会、参加の機会、実践の機会を提供し、出雲市における芸術文化の振興の中核としての役割を果たしてまいります。

平成 27 年度においては、一昨年度より支援を受けている「劇場・音楽堂等活性化事業」を引き続き活用し、出雲フィルハーモニー交響楽団定期演奏会の充実、出雲の春音楽祭におけるオーケストラと日本舞踊が融合、自主制作古典芸能公演「日舞の魅力×箏曲の魅力」などの新たな取り組み、出雲芸術アカデミーによる人材育成事業や出前講座(アウトリーチ活動)による普及啓発事業に重点的に取り組みます。

#### (1) 出雲総合芸術文化祭事業

「本物志向」の観点から取り組んでいる優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供する鑑賞事業については、子どもたちの豊かな感性と創造性を育み、鑑賞能力の向上を目指した次世代鑑賞者育成事業、歌舞伎などの日本の古典芸能を守り伝えていく古典芸能事業、一般市民を対象として芸術文化の喜びを感じてもらう一般事業、また新たに鑑賞公演をプロデュースする制作型公演事業に分類し、それぞれの分野において積極的に取り組んでまいります。

特に次世代鑑賞者育成事業としては、国の支援を受けながら新国立劇場と連携し、当劇場が提供する国内最高水準でのバレエ公演を予定しているところで、中央でしか鑑賞できない公演を居ながらにして鑑賞できるまたとない機会と期待しています。

また、初めて取り組む制作型公演「日舞の魅力×箏曲の魅力」については、昨年度、新たに開講した出雲芸術アカデミー日本文化講座の成果発表に併せ、国内トップクラスのプロの舞踊家である藤間欄黄氏や地元で活躍中の舞踊家、藤間恵都子氏を招き、財団職員自らが鑑賞公演をプロデュースするなど、新たな取り組みを試みることにしています。

また「住民参加」をテーマに地元の住民で構成される実行委員会が中心となって取り組んでいる自主事業については、その多くが長年にわたって開催してきた事業で、毎年継続的に取り組んでいくことでその事業効果が現れてくるものと考えています。

一方でそうした事業の継続性を重視しながらも、部門を新設したり、構成を変えるなど常に新しい要素を取り入れて改善に努め、その運営形態や実施内容について見直しを行いながら新たな事業展開についても検討していくことにしています。

平成 27 年度(2015)第 21 回出雲総合芸術文化祭実施計画			
	開催月日(予定)	事業区分	公演等事業名
1)	7月5日(日)	鑑賞事業	オペラシアターこんにゃく座「ピノキオ」
2)	7月26日(日)	自主事業	将棋フェスティバル
3)	8月1日(日)	自主事業	出雲囲碁フェスティバル
4)	8月30日(日)	共催事業	サウンドフェスタ大心路
5)	9月13日(日)	鑑賞事業	新国立劇場バレエ「シンデレラ」
6)	11月7,8日(土、日)	自主事業	いずも音楽コンクール
7)	11月19日(木)	鑑賞事業	松竹大歌舞伎
8)	12月20日(日)	自主事業	日本舞踊公演「日舞の魅力×箏曲の魅力」
9)	12月	自主事業	わたしのうたコンサート
10)	1月11日(日)	自主事業	いずも新春コンサート
11)	2月	鑑賞事業	桂米朝一門会
12)	2月27日～3月1日	展示事業	公募展優秀作品展
13)	2月27日～3月1日	展示事業	工芸展
14)	3月21日(月・祝)	自主事業	出雲の春音楽祭2016

## (2)出雲芸術アカデミー事業

出雲芸術アカデミーは平成 17 年 10 月に開設され、子どもの頃から芸術文化に触れ、学ぶことができる機会を提供し、芸術文化を通して創造性に富み感性豊かな青少年の育成を図ること、更に地域の芸術文化を支える指導者の育成及び広く市民の積極的な芸術文化活動への参加を促進することを目的として事業運営に取り組んでいます。

音楽院では幼児から高齢者までを対象に器楽、声楽の講座を継続して実施し、成果発表の場として演奏会を開催します。

また、音楽研究院では講師の技術研鑽に努め、市内小学校や幼稚園・保育園、また福祉施設等へのアウトリーチ活動の更なる充実に取り組み、楽器体験、生演奏の鑑賞、演奏指導など音楽の普及啓発、技術の向上に努めます。

昨年度は、文化庁の「劇場・音楽堂等活性化事業」を活用し、日本文化の普及と発展を目的に、特別講座として舞踊アンサンブルクラスと箏曲アンサンブルクラスを新設して講座の分野を広げました。こうした新たな分野への取り組みを出雲の春音楽祭でのオーケストラと日本舞踊が融合する、独創的な出雲アートシーンの創出や出雲伝

統芸能公演「日舞の魅力×箏曲の魅力」の上演に繋げてまいります。

演奏会では、「出雲芸術アカデミー設立10周年記念」のタイトルを冠し、ニールセン、デュカス、シベリウスの生誕150年、ブーゲンザイルの生誕300年記念イヤーの作曲家の作品を取りあげたり、修了生で現在海外でも活躍中のフルートのソリストを起用するなど、記念イヤーにふさわしいプログラムで構成することとしています。

また、出雲 Jr.フィルでは出雲市における芸術文化の更なる発展を目指して、今年度は演奏活動の一環として開館10周年を迎える益田市グラントワに遠征し、演奏するとともに「いわみキッズ塾」の子供たちと演奏交流を進めます。

子供のころから、他地域との交流を深め、お互いの演奏にふれあうことで音楽技術等の相互研鑽につながるとともに、それぞれ地域の文化・芸術の更なる発展と音楽を愛する子供たちの健全育成を目的に実施するものです。

#### 〈講座事業〉

- ・ 幼児 親子リトミックコース (3歳児、4～5歳児、6歳児) 通年(定員200名)
- ・ 本 科 リトミックコース (音楽入門、小学1～3年生) 通年(定員25名)  
合唱コース (合唱 小学生4年～高校2年生) 通年(定員40名)  
オーケストラコース (入門、オーケストラ 小学生～高校生) 通年(定員125名)
- ・ 別 科 コーラス・レパートリー (18歳以上) 通年(定員70名)  
オーケストラ・レパートリー (18歳以上) 通年(定員60名)  
邦楽合奏 (18歳以上) 通年(定員20名)
- ・ 特別講座 日本文化講座 (平成26年11月開講) (定員10名)

#### 〈演奏会等事業〉

- ・ 第10回ファミリーコンサート (4月19日、大社文化プレイスうらら館)
- ・ 出雲フィルハーモニー交響楽団第19回定期演奏会 (7月20日、出雲市民会館)
- ・ 出雲 Jr. フィル・プロムナードコンサートⅢ (11月15日、うらら館)
- ・ うたなかまこんさと2016 (1月17日、うらら館)
- ・ 出雲 Jr. フィル ニューイヤー特別公演 in 益田 (1月10,11日、グラントワ)
- ・ アウトリーチ活動

音楽芸術への関心と興味、また知的満足感や情緒の安定をもたらすとともに、アカデミーの広報と裾野の拡大を目指します。

市内の幼稚園、保育園、小学校や病院、福祉施設等35ヶ所程度に出雲芸術アカデミー講師が出向き、演奏や指導を行います。

・指導者育成支援事業

音楽研究院にて学術研究、指導者育成、音楽芸術活動支援を行います。

このように、アカデミー事業においては、それぞれの事業内容の充実を図る一方、長く据え置かれてきた講座事業にかかる受講料について、受益者負担の適正化を図る観点からそれぞれ見直しを行いました。

本年5月からの入校は新料金になることから、受講者の皆さまには丁寧な説明に心がけてまいりたいと考えております。

### (3) 出雲メセナ協会の事務局に関する事務

出雲メセナ協会は、平成10年に出雲市内の企業や個人が出雲地域の芸術文化の普及、向上、発展に寄与することを目的に設立されました。主な活動は、会員の会費を原資とした出雲地域で開催される芸術・文化活動への財政支援などです。

〈組織〉 会員数 232名（平成26年12月31日現在）

役員 会長1名、副会長2名、理事10名、監事2名

〈事業〉 ① 芸術・文化活動財政支援事業（年2回募集）

② 基金事業・・・小中学校等への芸術家派遣事業

③ PR事業・・・メセナだよりの発行（年1回）

④ 共催事業・・・出雲総合芸術文化祭事業と共催

## 2 博物館事業(出雲文化伝承館・平田本陣記念館)

博物館事業では、わが国や出雲地方の優れた美術工芸、歴史、民俗等の資料の収集、保管及び展示に関する事業を出雲文化伝承館と平田本陣記念館で一体的に実施し、それにより出雲文化の魅力を再認識するとともに郷土に自信と誇りをもつことのできる事業展開に努めます。

また和 cultura まつりなど市民参加型の事業を企画し、伝統文化や芸術文化に触れる機会を提供するほか、子どもや大人対象の教室、講座、講演会等を通して芸術文化の多面的な振興に努めます。本年度は収入増を図るため協賛広告を募るなど財源確保に努力します。

### (1) 展示事業

平成27年度の展示事業は出雲文化伝承館、平田本陣記念館の両館で10回の展覧会を開催します。

郷土ゆかりの展覧会を中心に企画するとともに、西巻茅子の絵本原画展や美少女漫画の先駆けである「高橋真琴」展、さらに明治期の華やかな輸出陶として国内外で人気の

ある「オールドノリタケの世界」展など開催して、子どもから大人まで楽しめる幅広い内容で芸術文化にふれていただきます。

特に秋の特別展では、出雲地方に禅道と禅画を普及し、功績のあった風外本高禅師の来雲 200 年の特別展「出雲の風外さん」展を二館で同時開催し、県内外の画禅一如の優品を紹介して、当地方にのこる優れた文化の一端にふれていただきます。

また本年度は展覧会にあわせ講演会やワークショップ、バスツアーなどを積極的に企画して多面的に展覧会の内容を深めます。

さらに平成 26 年度の郷土資料調査活用事業で行った塩冶神社元宮司家、秦家の古文書等の整理の成果を「出雲の社寺宝物展（Ⅱ）」で展示するなど、出雲市と補完し合いながら文化振興に努めます。

このほか、本陣記念館の協賛事業として「アートフェスティバル」や「市内在住作家展」の企画を行います。

なお、平成 28 年は「平田高校 100 周年」にあたり、さまざまな記念行事が予定されていますので、本陣記念館として参画する計画を進めます。

#### ①出雲文化伝承館

展覧会名称（仮称）	開催期間（予定）	内 容
高津コレクション 華麗なる武家文化 －武家の表道具と 奥道具－	4月1日（水）～ 5月10日（日） 《公開 41 日》	武家の権威を象徴する表道具としての甲冑、刀剣、能装束、茶道具及び奥道具の婚礼調度、小袖、遊戯具など、わが国の華麗な武家文化の一端を紹介します。あわせて應挙など京画壇の絵画を含め約 60 点を展示します。
郷土愛刀家コレクション 刀剣展	6月13日（土）～ 7月26日（日） 《公開 32 日》	出雲地方の愛刀家が収集した刀剣、甲冑、小道具などを中心に約 80 点を展示します。ギャラリートークや日本刀に親しむ講座を開催します。
館蔵絵画展	8月1日（土）～ 9月27日（日） 《公開 51 日》	郷土ゆかりの日本画、洋画家を中心に、館蔵品を展示します。

出雲の社寺宝物展（Ⅱ）	1月5日（火）～ 2月7日（日） 《公開31日》	出雲市内の社寺には優れた文化財が伝えられています。シリーズ2回目は一畑寺ほか市内の神社、寺院に伝わる貴重な宝物を紹介し、郷土の歴史や文化を考察します。あわせて26年度地域芸術文化活性化事業（郷土資料調査活用事業）の成果として塩冶神社の元宮司家・秦家ゆかりの史料を展示します。
オールドノリタケの世界	3月19日（土）～ 3月31日（火） （5月中旬まで） 《公開12日》	明治37年に創業した日本陶器合名会社（現ノリタケカンパニーリミテド）は日本初のディナー皿を製作し、わが国洋食器産業の礎を築きました。本展では「オールドノリタケ」の華やかな輸出用洋食器の数々を紹介します。会期中には恒例の早春の茶会を予定。

## ②平田本陣記念館

高橋真琴展 ー夢見る少女達ー	4月4日（土）～ 6月7日（日） 《公開56日》	60年～70年代の少女達を夢中にさせた少女漫画家、高橋真琴の世界を紹介します。きらめく瞳や美しい姿は現代の少女漫画の原型をつくりました。
西巻茅子原画展	7月4日（土）～ 9月27日（日） 《公開74日》	ロングセラー『わたしのワンピース』『はけたよはけた』などの絵本作家、西巻茅子の絵本原画を展示してその世界を紹介します。
古川誠 写真展	12月12日（土）～ 2月7日（日） 《公開45日》	県内を中心に写真を撮り続け、国内を始め海外でも注目を集める古川誠氏（斐川町在住）の写真展を開催します。
館蔵品展	3月5日（土）～ 3月27日（日） 《公開19日》	館蔵品から洋画を中心に展示します。

### ③両館連携事業

来雲 200 年記念 出雲の風外さん	10 月 16 日(金)～ 11 月 29 日(日) 《公開 39～40 日》 出雲文化伝承館 平田本陣記念館	曹洞宗の高僧で、画僧としても著名な風外本高は 6 度も出雲地方へ遊歴し、斐川町の勝部家等に厚遇され仏道を広め、また多くの禅画を描きました。風外和尚来雲 200 年を記念して伝承館と本陣記念館、同時開催の特別展を開催し、その業績を顕彰します。
-----------------------	---	--

### (2)出雲和文化交流会事業

市内の伝統文化関係団体の協力を得て、出雲和文化交流会との共催で 11 月に第 13 回目の「出雲和文化まつり」を文化伝承館で開催します。(茶会、いけ花展示、邦楽・日本舞踊発表、出雲なんきんほか特産品販売等)

### (3)地域芸術文化活性化事業

伝統文化の普及、継承を目的に子ども教室、大人対象の教室、文化講演会等を開催します。昨年度からの継続事業として「出雲伝統の祝膳」講座及び寄贈、寄託を受けた歴史、文芸資料を調査、整理する郷土資料調査活用事業を実施します。

#### ①第 2 回「出雲伝統の祝膳」講座事業

昨年度は初回として明治年間の当地某家「婚礼」の祝膳を再現し好評でした。

当時の饗応の様式、料理方法やその苦勞、また食材に込められた意味などを参加者に理解していただきました。

本年度は人生の始まりとして「誕生」に焦点をあてます。「帯祝い」「誕生祝い」「名付け祝い」「百日祝い」「初誕生日」など、それぞれに祝膳がありますが、その中から明治年間に行われた「祝膳」の一部を再現します。内容は婚礼ほど豪華ではありませんが、生命誕生の慶びや健やかな成長を願った祝膳を体験していただきます。

【事業内容】 講話 「出雲の祝膳—誕生—」

祝膳の食体験 2 回

調理講師 島根県庖友会等

#### ②郷土資料調査活用事業

伝承館、本陣記念館が寄贈、寄託を受けた歴史、文芸資料の整理、目録作り、撮影、解説を行い、今後の展示事業への活用を図るための調査、研究、整理を行います。

本年度から 5 年計画で本陣記念館蔵の木佐家文書を整理し、32 年度にはこの成果を展覧会で発表します。

### ③各種教室・講座

#### ア. こども教室

夏休みなどを中心に、絵画、陶芸など様々な美術、工芸、和文化などを体験する教室を開催し、出雲市の将来を担う子どもたちの感性を育て郷土愛を深めます。

(和菓子作り・お抹茶体験教室、学校茶道合同茶会、やきもの教室、水彩画教室、いけばな教室、民話・昔話を楽しもう、注連縄作りなど)

#### イ. 文化講座 (一般対象)

絵画、陶芸教室などの芸術文化、伝統文化を体験する講座を開催し、その理解と普及を図ります。

(絵画教室、香道教室、やきもの教室、掛け軸、和歌等文化講座など)

### (4)呈茶事業

お茶の文化が古くから伝わる出雲において、茶道文化の伝承と普及を図るため、出雲文化伝承館の茶室「松籟亭」、平田本陣記念館「庭園鑑賞ホール」で、お抹茶を味わっていただきます。(伝承館は12月～2月は休業)あわせて、茶道各流派の茶会及び学校児童等による茶道催し等に連携支援して貸出します。

### (5)文化財保存公開事業

出雲文化伝承館では、出雲市指定文化財である出雲屋敷等の施設の公開と利用活用を図り、出雲流庭園や独楽庵と一体となった落ち着いた景観の維持管理に努め、くつろぎの中で伝統建築を理解していただきます。また、平田本陣記念館では県内では稀に残る御成り屋敷と庭園を中心に保存公開し、特色ある出雲文化の伝統を紹介します。さらに本陣記念館では、引き続き来館の市内小学校児童へ民具の解説を行います。

## 3 貸館事業

出雲市民会館をはじめ財団が管理する6つの施設は、より多くの市民に親しまれる地域文化振興の拠点として、財団自主事業や各種文化団体により上質な演劇や演奏を鑑賞する機会、また、広く市民を対象とした講演会や発表会の場を提供し芸術文化の振興を図ります。

施設の貸し出しにあたっては、当該館の施設のみならず他館の特徴もよく把握し、利用者のご要望にお応えするとともに適切かつ効率的な貸し出しに努めます。

また、施設建設後の年数が経過していることから、建物、設備、備品ともに維持管理が特に重要となってきています。保守・点検と大事に至る前の小修繕を適時適

切に行ってまいります。

#### (1) 出雲市民会館

出雲市内のメインホールとして、1, 210席の大ホール、大小多くの会議室、展示室など、専門性の高い劇場として、多くの観客が入場できるホールとして、また会議・会合・展示会など会館として、利用者のご要望にお応えし、有効にご利用いただけるよう努めてまいります。

#### (2) ビッグハート出雲

J R 出雲市駅南側という利便性の良さと市民の参加型の催しに適した白のホール、黒、茶のスタジオ、アートギャラリーなど、多彩な施設を活かし、芸術文化活動だけでなく学会、研究会にも引き続きご利用いただけるよう、ホームページや館内に設置したディスプレイでPRに努めていきます。

また、小規模ホールの特徴を活かし、幼児から高齢者まで演者、観客が一体となって芸術が楽しめるような財団の自主事業を実施します。

#### (3) 平田文化館

プラタナスホールは、電動移動観覧席により406席から813席まで自由な座席設定が可能で、講演会やコンサートにご利用いただけます。また、座席を収納すれば173坪のフラットなスペースとなり、展示会や軽運動など幅広くご利用いただいております。そのほか小ホール、会議室、和室、応接室を備えており、地域文化活動の拠点として有効にご利用いただけるよう努めてまいります。

#### (4) 大社文化プレイスうらら館

600席のだんだんホール及び200人の収容を可能とする市内の中規模文化施設として、利用者にご効的にかつ親しみをもって使っていただけるよう、利用する側の立場に立った業務を行ってまいります。また、大社図書館との複合施設である特徴を活かし、地域の文化拠点として愛されるよう、地域の文化団体等との連携を大切にしながら貸館業務を推進してまいります。

なお、施設は経年劣化による補強修繕等が必要な部分が見受けられるようになってきましたが、利用者の安全を第一においた対応を心がけてまいります。

#### (5) 出雲文化伝承館

出雲屋敷、企画展示室、茶室「松籟亭」、文化工房・縁結び交流館の公開と貸出について、利用者のご要望にお応えしつつも貸出については出雲の文化を伝承する目的から適切に対応することとし、有効にご利用いただけるよう努めてまいります。

#### (6) 平田本陣記念館

本陣記念館として本館、展示館、茶室等の公開と貸出しについて、利用者のご要望にお応えし、有効にご利用いただけるよう努めてまいります。

(7)管理施設の概要

管理施設名	主な施設	利 用 案 内
<b>出雲市民会館</b> (塩冶有原町 2 丁目 15) <b>TEL 24-1212</b>	大ホール(1,210 席)	コンサート、演劇他各種公演、伝統芸能、式典、講演会、小・中・高校生の音楽練習ほか
	展示室(243 m <sup>2</sup> )	各種作品等の展示
	多目的室(82 m <sup>2</sup> )	音楽団体等の練習会場、会議用、展示用
	会議室(5 室)	セミナーや講座、企業や団体の会議・研修用
<b>ビッグハート出雲</b> (駅南町 1 丁目 5) <b>TEL 20-2888</b>	白のホール (341 席)	学会、講演会、研修会、コンサート、教室・学校の発表会、音楽練習ほか
	白のホール控室(54.34 m <sup>2</sup> )	
	茶のスタジオ(122.47 m <sup>2</sup> )	講演会、会議、研修会、音楽練習ほか
	黒のスタジオ(139.48 m <sup>2</sup> )	舞踊・ダンス・音楽の練習、会議、研修会ほか
	アートギャラリー(263.78 m <sup>2</sup> )	作品展示ほか
	会議室(60.67 m <sup>2</sup> )	会議、面接、研修会ほか
	練習室(25.21 m <sup>2</sup> )	個人練習、バンドの練習、レッスン、ワークショップほか
	レセプション(91.2 m <sup>2</sup> )	会議、研修会、レセプションほか
文化サロン(183.50 m <sup>2</sup> )	ミーティング、作業、市民、各種団体の相互交流の場	
<b>平田文化館</b> (平田町 2112 - 1) <b>TEL 63-5030</b>	プラタナスホール(406 席 ～813 席) 平土間(173 坪・座席収納時)	講演会、研修会、コンサート、映画上映会、作品展、展示会場、パーティー会場、軽運動場
	小ホール(110 席)	講演会、会議、研修会、講習会、控室(楽屋)、絵画作品展
	会議室(2 室)	会議、研修会、講習会、控室(楽屋)
	和室(2 室)	会議、研修会、控室(楽屋)等
	応接室	小会議、控室(楽屋)等

<b>うらら館</b> (大社町杵築南 1338 - 9) <b>TEL 53-6500</b>	だんだんホール(600席)	講演会、会議、音楽会・発表会、映画、演劇ショー、歌謡曲、クラシック、伝統芸能、練習、その他
	ごえんホール (200席)	講演会会議等、音楽会・発表会、歌謡曲、クラシック、作品展示、伝統芸能、練習、コンクール、その他
	会議室 (3室)	会議、研修会、レセプションほか
<b>出雲文化伝承館</b> (浜町 520) <b>TEL 21-2460</b>	出雲屋敷 (356.6 m <sup>2</sup> )	見学、茶会、結婚披露宴ほか
	茶室「松籟亭」(150.82 m <sup>2</sup> )	呈茶、茶会、香会
	文化工房 (438 m <sup>2</sup> )	展示、作品展、陶芸教室、書道教室ほか
	企画展示室 (展示棟 580.8 m <sup>2</sup> )	企画展、特別展等
	縁結び交流館 (503 m <sup>2</sup> )	音楽練習、コンサート、講演会、会議、ダンス、軽スポーツほか
<b>平田本陣記念館</b> (平田町 515) <b>TEL 62-5090</b>	本館	花生け展、茶会、地域イベントほか
	展示館	美術品等展示
	茶室	茶事ほか

## II 収益事業

次の(1)から(6)までの施設の貸し出しにおいては、営利を目的とするホールの施設や物販等の利用のための貸出を収益事業とし、利用者のご要望にお応えし、有効にご利用いただけるよう努めてまいります。

### (1) 出雲市民会館

ホール、楽屋、控室、展示室、多目的室、会議室

### (2) ビッグハート出雲

ホール、スタジオ、会議室、スタッフ控室、アートギャラリー、文化サロン、レセプションスペース

### (3) 平田文化館

ホール、楽屋、会議室、和室

### (4) うらら館

ホール、楽屋、テラス、ラウンジ、学習室、会議室

(5) 出雲文化伝承館

展実室、茶室、指定文化財庭園等、多目的ホール

(6) 平田本陣記念館

本館、展示室、茶室

2. チケット販売等物販事業

(1) 各プロモーターが行うイベント等に係るチケットの販売等を行います。

(2) 企画展などにおいて、受託販売物や図録等の販売を行います。

(3) 第三者が行う自動販売機の設置を認め、販売手数料を得る事業を行います。

3. 大社図書館の管理運営事業

大社文化プレイスうらら館との複合施設である大社図書館の清掃、空調整備、修繕、消防点検及び警備等の管理運営を適正かつ効率的に行います。